



富山テレビ放送(BBT)



海と日本 PROJECT in 富山

一般社団法人とやまミライラボ



富山市を舞台 とした事業を 全国的な横展開へ

日本財団と富山市が連携協定を結んで5年。海洋ごみ問題は富山市を中心に全国的な広がりをみせている。

今年度は、引き続き網場の設置・調査や教育委員会との連携事業を展開。新しく市が独自に実施した海洋ごみフォーラムと連携したことに加え、県内企業や農業事業者、流通と連携し様々な事業を実施した。特に教育関連の取り組みに力を入れ、昨年度開発した「海洋ごみ問題を学ぶカードゲーム」を活用したモデル事業は様々な地区で体験会を行い啓発を図った。

2023年度 実施状況について

その他事業: スポGOMI、拾い箱事業、流通連携事業、オイルフェンス設置事業など



カードゲーム啓発事業

概要

カードゲームを用いたワークショップ・授業を開催。

目的

ゲームを通して海洋ごみ問題を深く理解し自発的な行動に繋げる。

アピールポイント

公認ファシリテーターを育成することで、全国的に事業が展開し自走していくモデルとなっている。

効果

公認ファシリテーター: 50名
実施回数: 県内4か所、県外48か所
(現在も受付中)



流域バスツアーモデル事業

概要

山間部と中心部の小学生を対象に河川を通して海洋ごみが広がる仕組みを学ぶバスツアーを開催。

目的

海から遠い地域の生徒にも海洋ごみ問題について学ぶ機会を創出する。

アピールポイント

バスツアー後、各校区のごみマップを作成し、山間部と中心部の生徒で交流会を開催。より体系的に海洋ごみについて学ぶ事業となった。

効果

バスツアー参加校: 3校 生徒数: 143名



小学校モデル授業

概要

市内の小学校で4年生を対象に海洋ごみを学ぶパンフレットを活用し総合学習の時間に啓発授業を実施。

目的

海洋ごみ問題の基礎知識習得。

アピールポイント

富山市から参加校を募ることで多くの小学校での開催が可能となり、自走しているモデル。

効果

実施校: 44校 生徒数: 2,287名
(現在も受付中)



現在制作中

農業連携モデル

概要

環境に優しい肥料を使った米を活用し商品を開発。

目的

肥料ごみ問題の啓発と、原料にプラスチックを使わない肥料の普及。

アピールポイント

全国に展開する直営店舗と、県内スーパーへの販路を持つ老舗の「日の出屋製菓」とコラボすることで、より多くの消費者への啓発が可能になる。

効果

直営店ほか、県内に30店舗以上ある大手スーパーでの販売も交渉中。

海ごみゼロウォーク



ごみ拾い参加人数 75,900人 箇所数 3箇所

アピールポイント

富山市が行う大型ごみ拾いと連携しごみ拾いを3回開催。町内会やボランティア団体のほか、本事業を通して繋がった企業の方々などが参加してくれた。

メディア露出



メディア露出本数 番組28本 告知CM150回(15秒5素材)

アピールポイント

本事業以外の海洋ごみに関するトピックも数多く取材し夕方ニュースで放送。イベント告知も積極的に行っている。

2023年度の課題とこれからの展望

2023年度の課題として、海洋ごみ問題について表層の学びに留まらず、より深い学びに繋げることが重要であることを改めて認識することができた。特に、流域バスツアーモデルにおいて、海岸のごみが自分たちの地域から出ているという実態を知ること、より体系的に学ぶ機会を創出できたと感じている。来年度はさらに教育に力を入れ、横展開可能な最新モデルの構築を目指す。その他の事業においても、「様々な連携主体」と事業モデルを構築することで期待以上の効果を出していきたい。